各　位

浦安鐵鋼団地協同組合
景況実感調査委員会

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(2024年1月分)

ご協力ありがとうございました。2024年1月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 142社　　回答 137　　回答率 96.5%

	前月比						前年同月比					
調査項目	10%以上増加・上昇・好況	やや増加・上昇・好況	横這い・平常	やや減少・下降・不況	10%以上減少・下降・不況	計	10%以上増加・上昇・好況	やや増加・上昇・好況	横這い・平常	やや減少・下降・不況	10%以上減少・下降・不況	計
売上数量	9社 6.6% (6.1)	11社 8.0% (12.1)	53社 38.7% (32.6)	35社 25.5% (31.8)	29社 21.2% (17.4)	137社	21社 15.4% (7.7)	12社 8.8% (12.3)	46社 33.8% (35.4)	32社 23.5% (24.6)	25社 18.4% (20.0)	136社
売上高	9社 6.6% (8.3)	10社 7.4% (12.9)	48社 35.3% (31.1)	41社 30.1% (29.5)	28社 20.6% (18.2)	136社	18社 13.2% (9.2)	10社 7.4% (12.3)	50社 36.8% (31.5)	36社 26.5% (28.5)	22社 16.2% (18.5)	136社
在庫数量	1社 0.8% (2.4)	19社 14.7% (8.7)	80社 62.0% (63.5)	24社 18.6% (23.0)	5社 3.9% (2.4)	129社	5社 3.9% (6.3)	18社 14.0% (17.5)	66社 51.2% (40.5)	24社 18.6% (23.8)	16社 12.4% (11.9)	129社
販売単価	2社 1.5% (0.8)	7社 5.1% (3.8)	114社 83.8% (80.8)	13社 9.6% (12.3)	0社 0.0% (2.3)	136社	1社 0.7% (7.0)	26社 19.4% (19.4)	65社 48.5% (42.6)	37社 27.6% (25.6)	5社 3.7% (5.4)	134社
収益状況(粗利)	4社 3.0% (3.8)	11社 8.1% (9.8)	69社 51.1% (41.7)	39社 28.9% (28.0)	12社 8.9% (16.7)	135社	6社 4.5% (5.4)	14社 10.4% (9.2)	52社 38.8% (31.5)	43社 32.1% (34.6)	19社 14.2% (19.2)	134社
稼働率(生産・加工設備)	3社 2.5% (1.7)	8社 6.8% (13.0)	60社 50.8% (46.1)	34社 28.8% (33.0)	13社 11.0% (6.1)	118社	6社 5.0% (4.4)	15社 12.4% (11.5)	58社 47.9% (46.0)	30社 24.8% (28.3)	12社 9.9% (9.7)	121社
入出庫のトラック台数	3社 2.3% (0.8)	9社 6.9% (9.3)	71社 54.2% (50.4)	37社 28.2% (28.7)	11社 8.4% (10.9)	131社	5社 3.8% (3.2)	16社 12.1% (7.9)	65社 49.2% (50.8)	33社 25.0% (27.8)	13社 9.8% (10.3)	132社
	現在の景況感						3ヶ月後の景況予測					
	0社 0.0% (0.0)	6社 4.5% (7.8)	66社 49.3% (45.0)	38社 28.4% (33.3)	24社 17.9% (14.0)	134社	1社 0.8% (0.0)	14社 10.5% (10.2)	96社 72.2% (69.3)	20社 15.0% (18.1)	2社 1.5% (2.4)	133社
特記事項												

注　①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
②(　)内の数字は前月のパーセントです
③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は特記事項欄に別途記載いたします
④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
事務局　TEL：047-350-5311　FAX：047-350-5316

景況実感調査(2024 年 1 月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

① 新年の幕開けとなったが、需要動向に変化なく停滞したままだ。鉄鋼メーカーは、需要動向に関係なく原材料の高騰、その他コストアップに耐え切れず次々と母材価格の値上げを表明しており今後、安価な輸入材を意識しつつ価格転嫁を進める必要がある。かなり難しい対応となる。

② 挨拶回りが終わった中旬から引合いが増えたが、月末には、また冷えた印象。残業は増えたが均してみれば前月と変わらず。タイトな明細もあるが、好転が待ち遠しい。

③ 1 月の加工量は前年比、若干減少。今期は前年を上回る月が少なく、需要が減少していることを数字で実感。唯一良かった自動車産業も不正続きで減少。メーカーの値上げの話もあり、需要とのギャップで流通は厳しい交渉となるが、不退転の覚悟で臨みたい。

④ メーカー値上げを控え、値戻しのアナウンスを開始した。ボリュームゾーンは売り込みも激しいので苦戦するが、粘り強く交渉していく。加えて諸コスト増もアナウンスを続け浸透を図っていきたい。荷動きはパッとしない。

中板

① 中板の実需は相変わらず精彩を欠いており、引合いは低調。東鉄や日鉄の店売り値上げ報道で底値の切り上がりは多少期待したいところではあるが、まだ実需が伴っておらず、値上げまでにはもうひと踏ん張りといったところ。今後の需要動向にもよるが、春先には単価が上がってくると思われる。

厚板

① ＜全体感＞厚板を扱う全ての産業分野とも、前月と状況は変わらず需要に盛り上がりがなく、低調で推移している。流通各社の在庫も適正水準から過剰へ移行を始めており、受注状況の好転は見受けられない。2024 年度上期はこのままの様相との見方も強い。＜分野別＞建機分野では、ヨーロッパやアジア市場の需要低下に加え、これまで比較的堅調であった北米向けも調整局面を迎えている。産機分野では、前年同月比では 12 カ月連続で前年割れしており、先々の見通しをも立っていない。店売り分野では、建築案件や土木案件は引き続き低調な状況が続いており、当面需要の回復は望めない模様。

② 建設機械は、当社の取引先では生産調整を実施している機種もある。店売り関連は、営業日数が少ないことも影響してか出荷量、売上ともに減少してしまった。

③ 前月の駆け込み需要が少なかった分、新年に入り出てきたように思える。物件の保留解除が多くなり、仕事量は増えてきている。

一般形鋼・H形鋼

① メーカーは、運送や原材料問題で早々と新年度からの値上げを表明しているが、こちらは荷動き悪化で値下げに走る見積りもあって陰の極み。今更2019年から2020年のコロナ最盛期の水準に落ち込んでいる原因は何か？

② 中小規模のビルやマンションは、資材高や人手不足で工事が遅れや見直しが相次ぐ。人手不足が深刻な問題。

③ メーカーの値上げが相次ぐ状況。中身の大半は輸送費・エネルギーコスト・人件費であり、我々流通にとっても同様のコスト増は不可避。需給環境云々の問題ではなく。社会的コスト増として仕入れ価格プラスαで転稼が必要。

異形棒鋼

① 1 月は稼働日が少なく、荷動き停滞を予想していたが想定以上の悪さであった。中小物件の新規案件も無く、メーカーの値上げ攻勢に煽られるばかりである。

② 12月比、1月は10%動きが悪くなった。2月も同じ感じ。価格は125円のまま。3月は少し良くなるだろう。

平鋼

① 1 月は稼働日数が少なく、年始明けのスタートも遅いこともあり、かなり厳しい結果となった。12 月と同様で店売りの状況も悪く、建築案件の加工品も変わらず山が低い。2 月積みでメーカーが値上げを新聞発表したが、荷動きが悪い中での値上げとなるので、慎重に話を進めていきたい。

② 中旬以降、荷動きが悪化。2 月に入って雪の影響もあるが更に落ち込んでいる。メーカー値上げの発表があったが、今のところ反応は薄く荷動きは悪い。今後、運賃の上昇も予想されるため、非常に厳しい状況。

軽量形鋼

① 稼働については前月並み。年度末までは横這いの見込み。

② 1 月の後半より低調さが一段と進んでしまった印象。2 月になっても変わっておらず、先行きがかなり不透明なってきた。

鋼管

① 荷動きに変化なく、景況感は良くない。価格の下落基調は落ち着いてきたが、先行きの引合いは少なく、厳しい状況が続いている。

② 首都圏の大型物件は遅れ傾向ながらも、ようやく動き出している。ただし、流通在庫のタイト感はあまりなく、在庫引き取り感は弱い。市況は、メーカーが 4 月製造分から値上げを表明しており、3 月期末にかけての仮需を期待する。

構造用鋼

① 需要は、自動車関連が回復基調ながら、紐付き主体で店売りは変わらず盛り上がりに欠けている。建機、産機は世界的な景気悪化により輸出向けが振るわない。在庫は、メーカーへの発注抑制もあるが、多めの状態。価格は現行値優先で横這いの状況。

磨棒鋼

① 自動車向け紐付き品は、特定の向け先以外は依然として調整局面が更に強くなっている。また、建機向けも昨年から徐々に出荷が鈍りだしており、今後も減少傾向は続く見込み。メーカーより原材料値上げの発表があった。今回の価格改定は、加工賃に加え運賃、労務費上昇分の転嫁も加味した形で進めていく。

その他

＜異形バーインコイル・ナマシ鉄線＞

① 年明けから 1 カ月が経つが、日々の荷動きに改善は見られない。メーカーは値上げを唱え始めたが電炉、高炉メーカーの足並みが揃っていない様子がある。市況を含め、慎重に対応する方針。

＜鉄スクラップ＞

① スクラップの発生は悪く、荷動きは低調。1 月はメーカーのスクラップ価格の発表に振り回された。2 月は為替が円安に進むと相場が強含む可能性もあり、様子見。

＜金属表面処理＞

① スポット、紐付き共に好調。輸送費値上げアナウンスが届き始めたので客先に展開していく。